

法華宗オリジナル

『ご家庭仏壇用過去帳』・『宗章紋入り過去帳台』
頒布中



法華宗オリジナル『ご家庭仏壇用過去帳』は、表地の金襴に「鶴丸」の紋をデザインして織り込みました。

内容は、日蓮大聖人ご真筆を頂戴して謹製いたしました。特に扉の御曼荼羅は大本山鷲山寺に伝わるご本尊を揮写いたし、各日のお題目は大本山光長寺蔵ご本尊より謹んで抽出いたしました。また日蓮大聖人のご聖日や四大本山の開基聖人のご命日なども記して、今までにない法華宗のオリジナルとなっております。

『宗章紋入り過去帳台』は、法華宗宗章紋をニヶ所に貼り付けた法華宗のオリジナルです。

檀信徒のみなさま、信心増進の一助として、是非、この機会にお求めください。

頒布冥加料(送荷料込み)

◎『ご家庭仏壇用過去帳』6寸(たて約18cm)	3,500円
4.5寸(たて約14cm)	2,500円
4寸(たて約12cm)	2,300円
◎『宗章紋入り過去帳台』6寸用	6,500円
4.5寸用	6,000円
4寸用	5,800円

お申込みは、法華宗教化センターまで。

寺院・教会名

法華宗ホームページ

<http://www.hokkeshu.or.jp/>



パソコン専用

法華宗教化センター

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-19-1 法華宗宗務院内
TEL. 03-5614-3055 FAX. 03-5614-3056

© 2008.3.1

咲か
そ
う
の
ち

暑さ寒さも彼岸までと申しますが、冬の厳しい寒さから解き放たれ、春を迎える喜びは特別なものがあります。

昔、インドの雪山に寒苦鳥かんくちゅうという鳥が住んでいたそうです。そこは寒暖の差が激しく、夜になれば草木も凍りつく真冬の寒さとなり、夜が明ければ太陽に照らされて穏やかな春の日となるのです。

寒苦鳥は、夜を迎えると、凍こてつく寒さに震ふるえ「明日こそ巣を造ろう、明日こそ巣を造ろう」と夜通し鳴きました。しかし朝を迎えると、夜の寒苦を忘れ陽射しの中眠ってしまい、そしてまた夜を迎え寒さに震ふるえ苦しむという毎日を一生涯繰り返すのでした。

私たちの毎日を振り返ってみると、多かれ少なかれ、寒苦鳥と似たようなものではないでしょうか。何かせつば詰つまったことがあれば、あれこれ考えたりもしますが、苦しい時が過ぎれば、そんな考えも忘れ去ってしまいます。「明日こそ・・・」、「今度こそ・・・」。これまでに何度思ったことでしょうか。

仏さまは法華経を通して人生のあり方をお示しになられています。私たちは人生に目標を定め、その目標に向かつて精進努力することが大切です。そして、怠け心に負けない強い気持ちを持つことも必要です。しかし、欲望の赴おもむくままに生きることはもはや人とはいえないでしょう。人が人らしく生きるために支えとなるものが、法華経の信仰なのです。困った時もそうでない時も、嬉しい時も悲しい時も、仏さまに掌てを合わせ、御教えに耳を傾け、私たちが今ここに生かされていることに感謝いたしましょう。

